

2021年2月17日
エレファンテック株式会社

大型量産実証拠点稼働のお知らせ

環境負荷が少ない製法で製造可能な片面 FPC（「P-Flex®」）を展開するエレファンテック株式会社（代表取締役社長：清水信哉 本社：東京都中央区）は、P-Flex®の大型量産実証拠点（名称：AMC 名古屋）が本年1月より稼働を開始したことをお知らせします。



<AMC 名古屋>

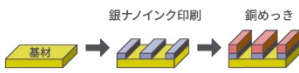
一昨年の10月に総額18億円の資金調達を実施し、昨年7月より賃借している三井化学株式会社名古屋工場内で大型量産実証拠点を立ち上げておりましたが、本年1月より試作品の製造・出荷を開始し、順次設備の調整を進めて4月より量産製品の製造・出荷を開始する予定です。

生産能力は2021年に月産5,000㎡、その後設備を増設し2024年に月産20,000㎡を確保します。この増設分を含む設備投資金額は最大で14億円を見込んでいます。

世界で初めてのインクジェット印刷による電子回路の大型量産の実現、セイコーエプソン株式会社によるインクジェット技術の提供、三井化学株式会社による場所と量産ノウハウの供与により、スタートアップの「量産の壁」を大企業の力を活用して突破することを目指します。

「新しいものづくりの力で、持続可能な世界を作る」という当社ミッションの実現に向けて、これまで東京・八丁堀にて小規模量産を行っていましたが、「インクジェット印刷技術を用いた電子回路を製造する世界初の大型量産実証拠点」として AMC 名古屋が始動することによって、多くのお客様へより環境負荷が低く、コスト競争力の高い製品をお届けすることが可能になります。

エレファンテック製法 (ピュアアディティブ®法)

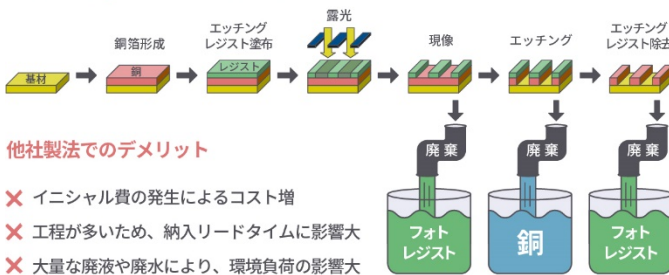


エレファンテック製法にするメリット

- ✓ 必要な箇所のみ配線形成を施すことで製造コストと環境負荷の低減を実現
- ✓ シンプルな製造プロセスのためリードタイムの短縮を実現

他社製法

(エッチング/サブトラクティブ法)



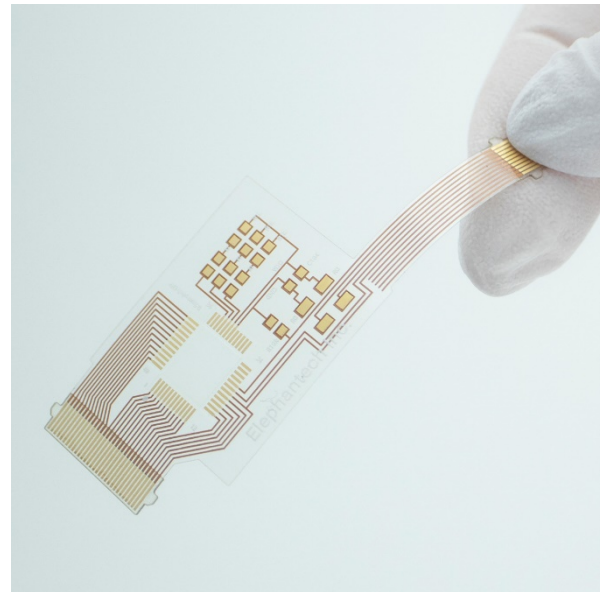
他社製法でのデメリット

- ✗ イニシャル費の発生によるコスト増
- ✗ 工程が多いため、納入リードタイムに影響大
- ✗ 大量な廃液や廃水により、環境負荷の影響大

<ピュアアディティブ®法>

<P-Flex®>

P-Flex®は「必要な部分にのみインクジェットで金属を印刷し、さらにめっき技術で金属を成長させる」というピュアアディティブ®法で製造された、環境にもやさしい片面フレキシブル基板です。



なお、この成果は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の助成事業の結果得られたものです。

AMC 名古屋の始動に際して、ご来賓をお招きしてのお披露目を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止と健康・安全確保に配慮し、予定を変更いたしました。

大型量産実証拠点の概要

名称	AMC 名古屋
所在地	愛知県名古屋市南区丹後通 2 丁目 1 番地 三井化学名古屋工場内
工場長	三輪 祐司
製造・出荷開始	試作品 2021 年 1 月、量産製品 2021 年 4 月
投資額	最大 14 億円
従業員数	稼働時点 10 名
建屋概要	建屋概要：延床面積約 2,600(m ²)、鉄骨三階建

会社概要

会社名	エレファンテック株式会社
設立	2014年1月
本社所在地	東京都中央区八丁堀四丁目3番8号
代表	代表取締役社長 清水 信哉
資本金	100百万円
従業員数	48名
事業内容	プリントド・エレクトロニクス製造技術の開発、製造サービス提供
URL	https://www.elephantech.co.jp

2021年2月17日現在

本件に関するお問い合わせ先

エレファンテック株式会社 広報担当 pr@elephantech.co.jp